

# 情報発信 ステーション

第19号 企画・発行：特定医療法人緑社会 新年号

平成18年

## 新年のごあいさつ



特定医療法人緑社会 理事長  
金田病院長

金田道弘

え、極めて活発に研鑽を積むことができました。

- ◎全面稼動から3年目を迎えた電子カルテシステム（統合医療情報システム）も引き続き順調に稼動し、医療の「安全対策」「情報提供」「質の向上」「迅速化」「効率化」などに優れた機能を発揮しました。

皆様には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

病院運営が健全に継続できましたことを、何よりありがたく心より感謝申し上げます。

- ◎4月には、185項目に及ぶ厳しい書類・訪問審査を経て、金田

病院は人間ドック・健診施設機能評価認定病院に岡山県内で初めて認定されました。

平成18年の言葉  
変革の  
時代に応える  
信頼医療

## 2005年は 「改革対処準備の年」

昨年2005年は、「改革対処の準備の年」にふさわしく、病院内

さまざまなシステムが誕生・発展した年でした。特筆すべき一年間の変化を挙げさせていただきたいと思います。

- ◎新医師卒後臨床研修制度に基づき、川崎医科大学附属病院から、医師国家試験合格後2年目の研修医2名を受け入れ、皆様のご協力により有意義な地域医療研修をさせていただきました。

昨年は、今後の医療を取り巻く厳しい環境を踏まえ、2005年を「改革対処の準備の年」、2006年を「改革実施の年」と位置づけました。

1年を振り返る時、この厳しさの中皆様のご支援により、おかげさまで

- ◎病院内の教育委員会活動が契機になりました。
- ◎病院内の教育委員会活動が契機になりました。
- ◎病院機能評価認定の第1回目の更新審査に向けて、プロジェクト委員会を結成し鋭意準備しました。
- ◎ご来院の皆様の思いに少しでも近づきたいと願い、ホテルグランヴ

イア岡山などで研修をさせていただ  
き、9月から病院玄関にご案内担当  
のコンシエルジュを配置しました。

◎病院ホームページを一新し、診療  
実績をはじめとする病院情報の公  
開を積極的に始めました。

## 2006年は 「改革実施の年」

本年2006年は、「改革実施の年」  
であります。

第五次医療法改正、診療報酬・介  
護報酬の同時改定、5年ぶりの岡山

県地域医療計画の見直しなど、病院  
運営上きわめて厳しく、重要な意味  
を持つ医療の大構造改革が行われま  
す。

経営の持続性・健全性と、医療サ  
ービスの信頼性・効率性の両面から  
官民問わず、全ての病院が国民によ  
り厳しく評価されるシステムが作ら  
れようとしています。

◎大変革の医療環境の中、私たちは、  
将来病院のあるべき姿・方向性を  
見極め、目標達成に向けて最大限  
の努力をいたします。

◎皆様のニーズにお応えして、1月  
中旬には人工透析室が生まれ変わ  
ります。

透析室を移転し、新しい透析機器  
を導入、整備・拡充を行います。  
より安全で快適な透析を目指します。

◎2月には、5年前の病院機能評価  
認定後初めての更新審査（バージ  
ョン5・0）を受けます。4名の  
サーベイヤー（訪問審査員）が東  
京から来られ、3日間にわたり5  
32項目の全てを厳しく審査され  
ます。全職員一致協力のもと難関  
突破・認定取得を目指します。

◎地域の皆様、連携医療機関への医  
療情報の積極的な提供と共に、受  
診者の皆様の選択に基づく医療を  
さらに推進いたします。

このたび岡山大学整形外科  
医局人事異動により、12月を  
もつて整形外科医長 清水弘毅  
医師が退職いたしました。後  
任は、1月より整形外科医長  
坂田賢一郎医師が赴任いたし  
ました。外来診療日および手  
術日に変更がござりますので、  
よろしくお願ひいたします。

### 整形外科医師 異動のお知らせ

### 編集後記

「奉仕、仁愛、誠実、研鑽、調和」  
の5つの法人理念のもと、金田病院、  
みどり訪問看護ステーション、居宅  
介護支援事業所みどりの職員一同、  
これからも皆様のこころに届く医療・  
福祉の提供を目指します。

地域医療連携室長・社会福祉士 田中聖  
経営企画室主任 有本紀子  
医事課 長田寛子



金田病院

# 「教育委員会」活動報告

金田病院教育委員長 三村卓司

金田病院教育委員会は、「院内各部門の教育研修の実効性を目指す」ことを目的として設置されました。医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、管理栄養士、臨床工学技士、事務職員など職域を越えた11名で活動しています。

「誠実に、確かな医療を安全に」—2005年、私たちが目標と決めたこの言葉を受け、多くのエネルギーを勉強にも注ぎました。教育委員会が企画させていたいたた年2回の院内研究発表会は、部門を越えた院内交流と、たゆまない勉強の重要性を再認識する場でもありました。5月に行われた第2回院内研究発表会では約80名の参加のもと、「褥瘡対策委員会の活動報告・第一報」をはじめ5つの部門から努力や工夫の成果が発表され、活発な討論が交

わされました。11月に行われた第3回院内研究発表会でも100名を超える方に参加していただきました。

昨年の学術活動は、全国学会・研究会等での発表が17題、院内での勉強会の開催は33回を数えました。院内勉強会では、毎回60名から120名もの参加がありました。

私は今まで、金田病院の職員の組織風土について、「誠実であったかく、やや大人しい」イメージを持つてきました。ところが職域を越えた教育委員会活動が

きつかけとなり、職員の向學心に火がついたようで、今はその情熱にただ驚くばかりです。このことは教育委員会としてこの上ないよろこびであり感謝でした。私たちは今後とも、研鑽を積み重ねて行ける環境作りに力を注ぎたいと思います。この1年間に院内でみられ始めたもうひとつの変化は、チーム医療の実践です。勉強会を通して、職域を越えて、お互いをエキスパートとして尊重する中での意見交換が行われました。栄養サポートチーム(NST)活動がその一例です。「栄養管理がすべての治療の基礎である」と言われる昨今、その重要性はますます増しています。昨年11月金田病院は、日本静脈経腸栄養学会よりNST稼働施設として正式に認定されました。



## 奉仕仁愛 誠実研鑽調和

●特定医療法人 緑社会 理念●

### ●金田病院理念●

金田病院は、二次医療圏・日常医療圏の中で、地域の医療機関との緊密な連携のもとに、地域の中核病院として、人々に分かりやすい医療提供体制を構築します。

金田病院の医療提供体制は、急性期医療を基幹とし、「亜急性期医療管理」「療養病床入院医療管理」を含む医療を担当し、地域医療の完結に寄与します。

### ●基本方針●

- 金田病院は、地域の人々に、良質な医療・介護を提供します。
- 金田病院は、地域の人々と、搖るぎない信頼関係を築いて行きます。
- 「個人情報保護法」を厳守するとともにプライバシーを尊重します。
- 根拠に基づく公平な医療を提供します。
- 診療は、医師の説明と、患者様の選択に基づいて行います。

(財)日本医療機能評価機構認定病院 (社)日本病院会 人間ドック・健診施設機能評価認定病院  
特定医療法人 緑社会

# 金田病院

TEL(0867)52-1191(代) FAX(0867)52-1917  
<http://www.kaneda-hp.com>  
〒719-3193 岡山県真庭市西原63



毎月第4土曜日は休診日です。(呼吸器内科は診療いたします。)

※但し、救急患者さまは休診日、診療時間外も24時間体制で 0867-52-1191 にて受け付けております。